

北海道音更町における基本計画の概要

計画のポイント

音更町は、第一次産業の農業が基幹産業であり、平成27年の農業産出額（推計）は約227億円（北海道内第8位）、耕地面積2万4千ha（北海道内第4位）を有し、畜産部門は、一戸当たり家畜飼養頭数が全国平均を大きく上回っている。また、本町で生まれの「音更大袖振大豆」は、豆菓子メーカーだけでなく、化粧品メーカーも注目するブランド力を持った大豆である。これら豊富な農畜産物資源を背景に、食料品製造業が集積している。

この地域特性を活用し、農産物を地域で加工し、付加価値を高める取組を強化することで、地域事業者の稼ぐ力の向上を図っていく。

また、十勝川温泉は、117年の歴史と北海道遺産である「モール温泉」のブランド力を背景に、平成28年度における訪日外国人宿泊客数が十勝総合振興局管内（19市町村）1位であり、本温泉を核に、交流人口の拡大や、農畜産加工品の販売を通じたブランド力強化を図り、域内経済の好循環・活性化を目指していく。

促進区域

北海道音更町

経済的効果の目標

1件あたり平均50百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を3件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.8倍の波及効果を与え、促進区域で270百万円の付加価値額の創出を目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～③のいずれか）】

- ①音更町の音更大袖振大豆等の特産物を活用した農林水産分野
- ②音更町の音更大袖振大豆等の特産物を活用した食料品等製造分野
- ③音更町の十勝川温泉等の観光資源を活用した観光分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：3,920万円超

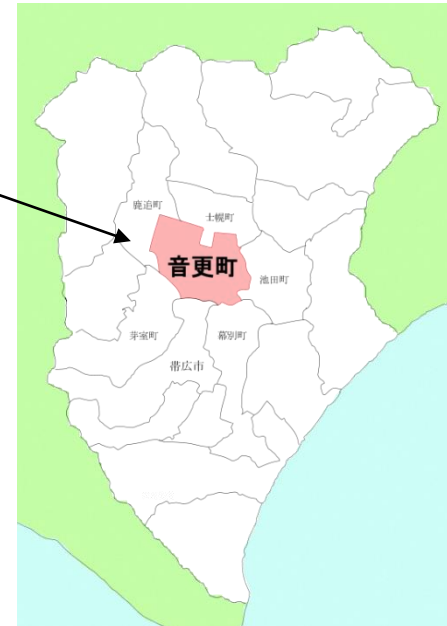
【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上：5%増加
- 雇用者数：1%以上増加
- 1常用雇用従業員あたりの現金給与総額：15万円又は4%増加

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税、固定資産税の減免措置の創設
- ・研究機関や支援機関が有する分析・解析結果や技術情報の提供、事業者からの事業環境整備の提案への対応、音更町IC工業団地拡張整備事業

《促進区域図》



地域経済牽引支援機関

帯広畜産大学、（公財）とかち財団

計画期間

計画同意の日から令和5年度末日、又は、新基本方針に基づいて、令和5年度末日までに改めて新基本計画を作成する場合は、当該新基本計画の同意日の前日のいずれか早い日まで